

[対象分野]

- 低未利用スペースの活用、地域人材の活用。

[目的・効果]

- 地域資源をシェアする仕組みを構築することで、積雪寒冷地における官民・地域による共助の活性化と雪対策課題である間口除雪の解決を効果的に行うものである。

[事業内容]

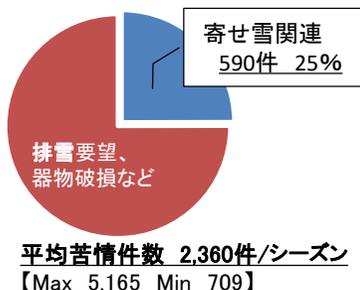
- 核家族や単身世帯が増加傾向となっている中で、重機による機械除雪で発生する間口への寄せ雪対応が困難となっており、人的な寄せ雪処理サービスや地域内の雪置き場としての空き地のシェアのほか、個人所有井戸のシェアによる融雪導入の促進による雪対策課題の解決を図るものである。

[特筆すべき事項]

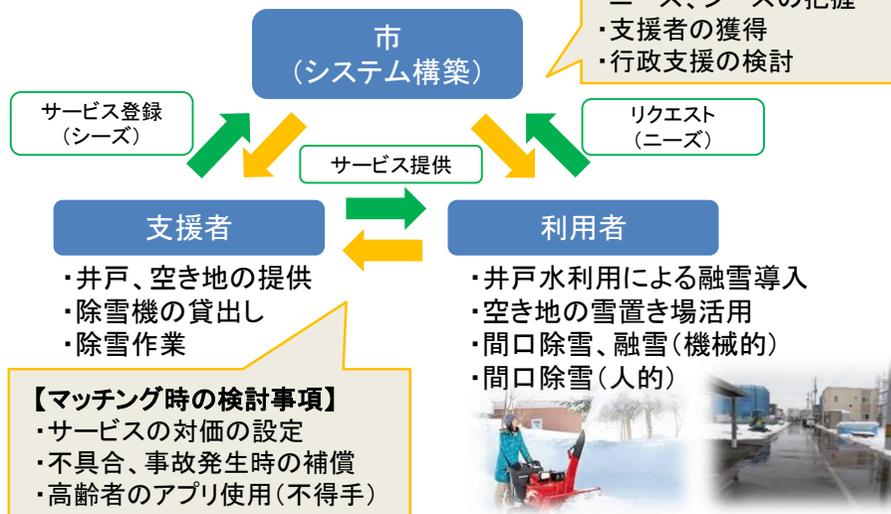
- 高齢化や人口減少が顕著に表れている積雪寒冷地での快適な生活空間の創出を目指すものである。



除排雪に関する苦情
【過去10年平均】



雪対策シェアリング関連イメージ



事業概要

検討フロー	主な検討内容(例)
1 対象事業の概要や資源の整理	・本事業の実施に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)の整理 ・関係主体の整理(市、事業者、支援者、利用者等)等
2 先進事例調査	・類似事例、他のシェアリングビジネス事例の調査 ・先進事例調査を踏まえた本事業の検討課題の整理 等
3 事業スキームの検討	・事業内容、事業スキーム、各々の役割等の検討 ・各関係主体の各々のビジネスモデルの検討 等
4 仲介機能等の実現方法の検討	・必要な仲介機能、仲介方法等の検討 ・事業に必要な費用等の検討 等
5 主体間の権利関係等の検討	・関係主体間の権利義務、契約関係等の検討 ・主たるビジネスリスクの抽出と対応方法の検討 等
6 関係主体へのヒアリング	・想定される事業者、支援者、利用者、システム業者等へのヒアリング(※関係主体間の研究会の設置も想定)
7 事業モデルの整理	・弘前市での雪対策シェアリング事業の事業モデルの整理 ・導入に向けた調整事項、今後のスケジュール等の課題整理